

田代剣道スポーツ少年団 第40回少年玉竜旗争奪剣道大会優勝

第40回少年玉竜旗争奪剣道大会が8月6日に福岡市で開催され、田代剣道スポーツ少年団が出場しました。大会は全国の強豪259チームが出場し、5人制の勝ち抜き法で行われ、見事、初優勝を果たしました。

また、8月8日から10日にかけて開催された全国少年剣道練成大会（東京都 550チーム参加）に出場し、ベスト32進出（コート準優勝）を果たしました。

大会出場メンバー（玉竜旗）

先鋒	舞原倫秀	6年生
次鋒	井手口 滝希	6年生
中堅	辺志切 巧耶	5年生
副将	富尾 龍平	6年生
大将	君付 祥平	6年生
補欠	松山 優季	4年生



道路愛護で表彰

道路愛護に顕著な功績があったとし、日本道路協会から盤山自治会の有馬功さんが、また、鹿児島県知事から橋ノ口自治会がそれぞれ表彰を受けました。

有馬さんは、平成12年1月からお孫さんと二人で「盤山の通学路にあじさいを植えよう」と思い立ち、現在では、約6,000本（延長2.2km）のあじさいを植栽管理して、道路愛護に貢献されています。

また、数年後に集落内であじさい祭りができればと計画されており、道路を活かした地域活性化に意欲を注いでいます。

橋ノ口自治会は、長年にわたり、旧田代町の中心地でもある橋ノ口周辺や、他町へのアクセス道でもある国道の美化清掃に自主的に取り組み、地域の環境美化に寄与されています。

神川公園入り口に七夕飾り

神川公園入り口に12本あまりの七夕飾りが飾られました。

この七夕飾りは、神川上自治会の近隣福祉ネットワークと子供会が合同で設置したものです。近隣福祉ネットワークの宮川正幸会長は、「少子高齢化に歯止めをかけたいがなかなかとまらない。地域の子供たちの未来に向けて明るさを与えてやりたく七夕飾りを設置した。また、神川大滝公園のPRもかねており、今後もPR活動を行い神川大滝を活かして行きたい。」と話してくださいました。

